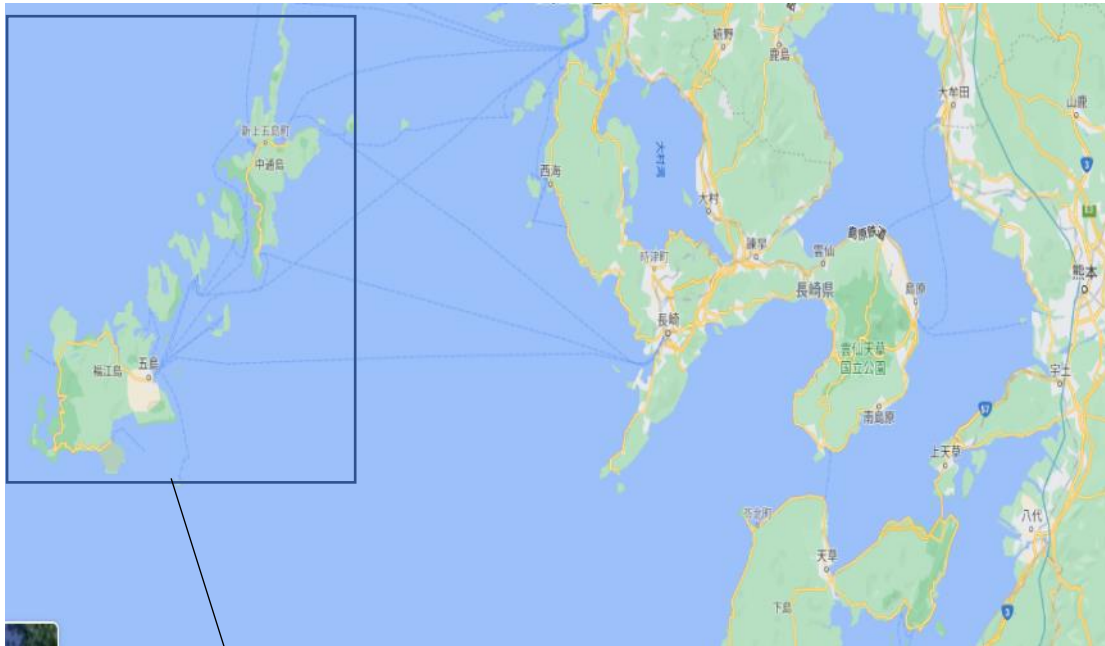
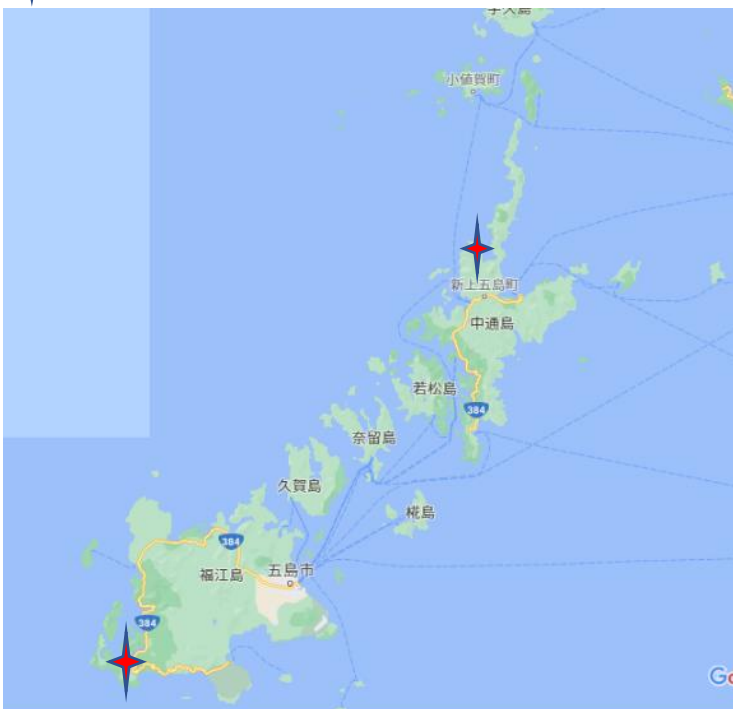


地図

五島列島、長崎、雲仙 島原、天草、熊本



夕日スポット



九州旅行 五島列島、長崎、雲仙、島原、熊本への旅

コロナ禍での隠密食べ歩き

2021年9月7日から18日

原 恆夫

コロナビールの蔓延のため、この2年ほどは海外旅行に行けず、旅行病にかかっている我々はいつ果てるとも知れない蔓延にしぶれを切らし、こっそりと2人で国内の今まで行ったことのないところに出掛けることにした、行先は五島列島。事前に調査を開始したが、我々の周囲には行った事がない人が多く案内書を頼りに計画を練っていた、マンション一階のレストランに来る人が良く知っているとの事で聞いてみたが、あまり要領を得なかった。五島と長崎を往復し、先ず五島の本島の福江に行く事は簡単に決まったが、ほかの島への連絡は帰りの船を考えると中通島を選択、どんなところか取敢えずこっそり出掛けることにした。家族の一員の猫は連れていけないので、同じマンションの有村さんをお願いし、快く引き受けて頂きました。

9月6日（月）

起床は午前3時45分。5時に家を出ないと羽田発7時30分の長崎行に間に合わない、本来は9時30分発に予約したが、コロナの影響があり、JAL減便の為、繰り上がった。

早朝、猫は気配を察して我々にまとわりつく、しかし家を出る頃、突然姿を消していくら呼んでも出てこない、雄美子さんパニック、手を引きずるようにして家を出る、二人とも無言、溝口発大井町線5時39分の電車に乗り、大井町、品川経由羽田着6時33分。羽田空港搭乗口9番、JALは7時30分定時発、ずっと雲に覆われていた下界は名古屋から晴れ9時15分長崎空港に無事到着。



ANAホテルに行くことにするが、空港から直通バスはない、途中新地で乗り換えろとの事バスに乗ること30分、ついてみると中華街の前、レストランが開くのは11時から、まだ1時間以上あるので、近くの台湾茶のカフェーに入りジャスミン茶、ウーロン茶で時間を潰す、

早く起きて、朝飯を抜いているので 眠い、ハラ減った。機内誌の公告に入っていた JAL 推

薦の店（会楽園）に入る、皿うどん、ちゃんぽんを注文、流石本場、結構美味しかった。12時に店を出てホテルに向う、チェックインは14時なので、それまでロビーの椅子で休憩二人とも寝てしまう、どうもこのホテル気が利かない、なんとなく対応が悪い、部屋に入りバタンキュー、朝3時半から居るので無理もない。

夕方5時頃飯にする、フロントで近くのレストランを聞く、（その際に今閉鎖されている観光場所のリストを出された。ほとんどが閉鎖。）教えてもらった居酒屋に行ってみたが、そこは9月10日までお休み、人に教えるなら事前にチェックをしてくれよと思った。

そこから又中華街に行く約500メートル。昼の中華料理屋はクローズ、仕方なくその店の反対の中華料理屋に入る、皿うどん（少し辛い）、北京ダック、春巻で済ます、19時には誰もいなくなり我々が最後の客。

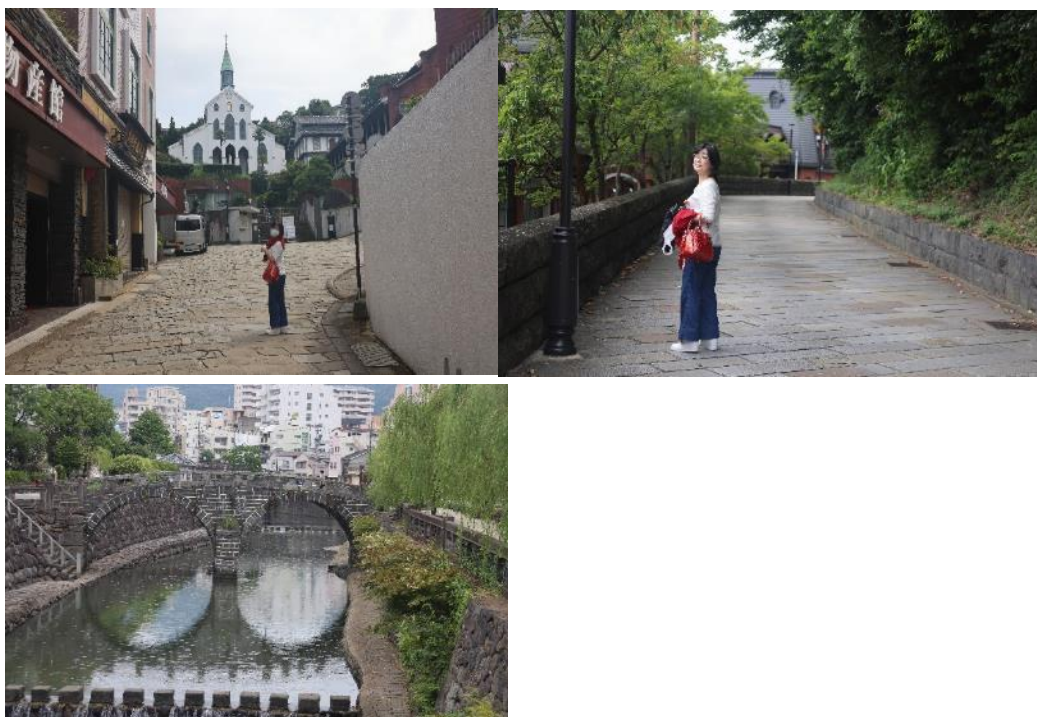
長崎の夜景がよく見える稲佐山の展望台に行く、ケーブルカー運転中止、公園も立ち入り禁止なので、タクシーで山の中腹まで行き見物、写真を撮ってホテルへ。

本日の長い一日は終わり。

9月7日（火）

起床5時、明日の五島行の船着き場と発券カウンターをチェックに栈橋までジョギング、そこから眼鏡橋、寺町の奥亀山社中、眼鏡橋に戻り、中華街、オランダ坂、ホテル帰着

大浦天主堂、オランダ坂、眼鏡橋



ホテルの二階でランチbuffet 65歳上は割引、その後昼の2時まで部屋で休憩、雄美子と二人で、閉館中の大浦天主堂、グラバー邸を外から見る、その辺りはガラガラで人がいない。そこから中華街経由 眼鏡橋、雨がぽつぽつ降ってきたので、寺町の散歩は諦めて、こじやれた Café HafH で休み又中華街、ちゃんぽんと豚の角煮入り饅頭（減茶苦茶美味しい東坡肉）、デザートを頼んだが、本日はありませんとの返事。レストランでは酒がないので、ホテルに帰り、昨日買ってあった地酒六十余州を飲み寝る
これが東坡肉（とんぼーろー）



9月8日

フェリーの内部

五島の一部が見えてきた



朝5時起床、出発予定は7時で、朝5時にかみさんを起こす、5時は早すぎ、5時半と言ったでしょうと朝いちばんでクレームを受ける。

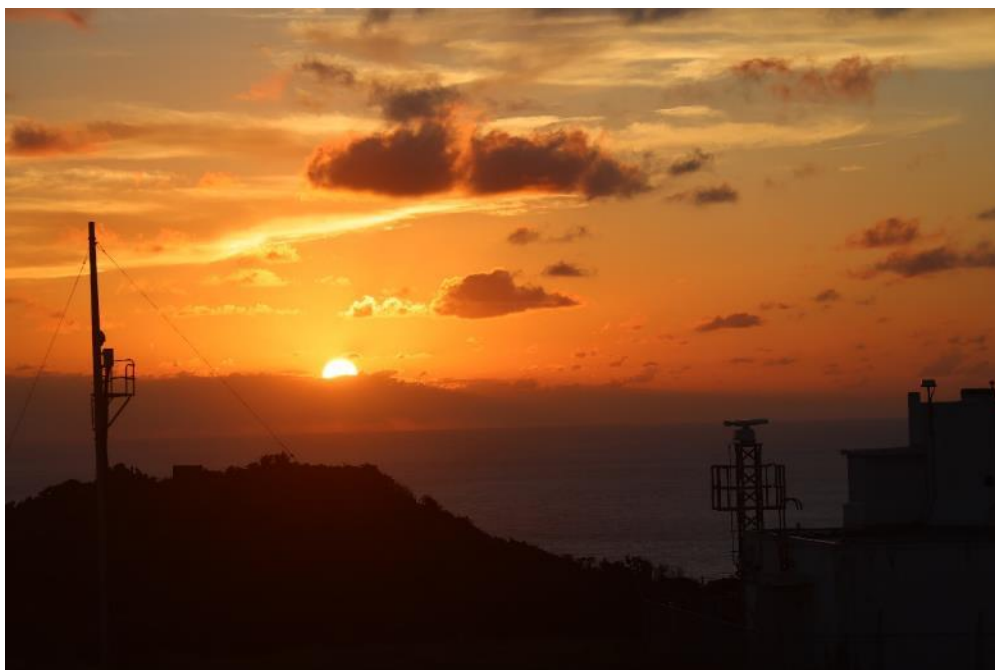
7時10分前にタクシーで港のターミナルビルへ、7時10分入船、7時40分水中翼船で1.5時間で福江港着、港の水はあまりきれいではなかった。船着き場に、ニッポンレンタカーの人が迎えに来てくれて、レンタカーのオフィスへ、ススキの軽自動車を借りる。それ乗り高浜海水浴場へ、すごくきれいな青い海と白い海岸、公園は閉鎖中だが誰もいない、後から地元のおばさんが長靴を履いてやってきた、

高浜海水浴場、無人

聞くとハマグリを取りにきたけっこうとれるとの事、その後 2~3 人が来たが後はなし。十分景色を楽しんだ。そこからホテル、カンパーニャに戻る。ホテルは街中にあり、港の端、福江城の隣、ロケーション良し、ホテルの夕飯は 5 時半、夕日が有名なところに行きたいが、夕飯を食べたのでは、夕日見物に間に合わない、ホテルの紹介で夕日の見物場所の近くのだるま食堂へ、鯖の刺身、てんぷら味は今一、夕食をそぞろに丘の上に行く、



東シナ海に沈む夕日 福江島大瀬崎灯台



見事な夕日を満喫しホテルに戻る、7階の屋上風呂に入る。このホテルは、上皇夫妻も止まったとの事、しかしちょっと上級のホテルといった所

9月9日

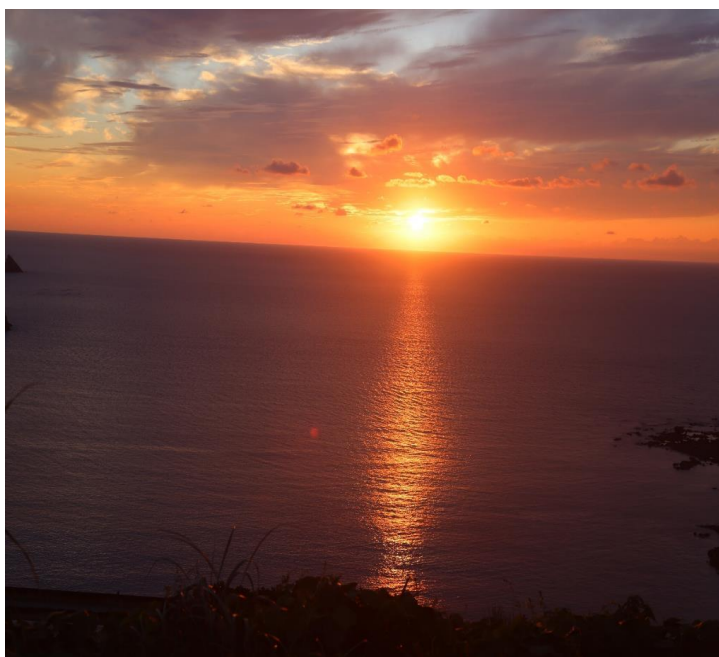
ホテルの朝食はブッフェ、量、味は十分、9時半にホテルを出て、車を満タンにして返す。前の日でも今朝でも料金は同じ。

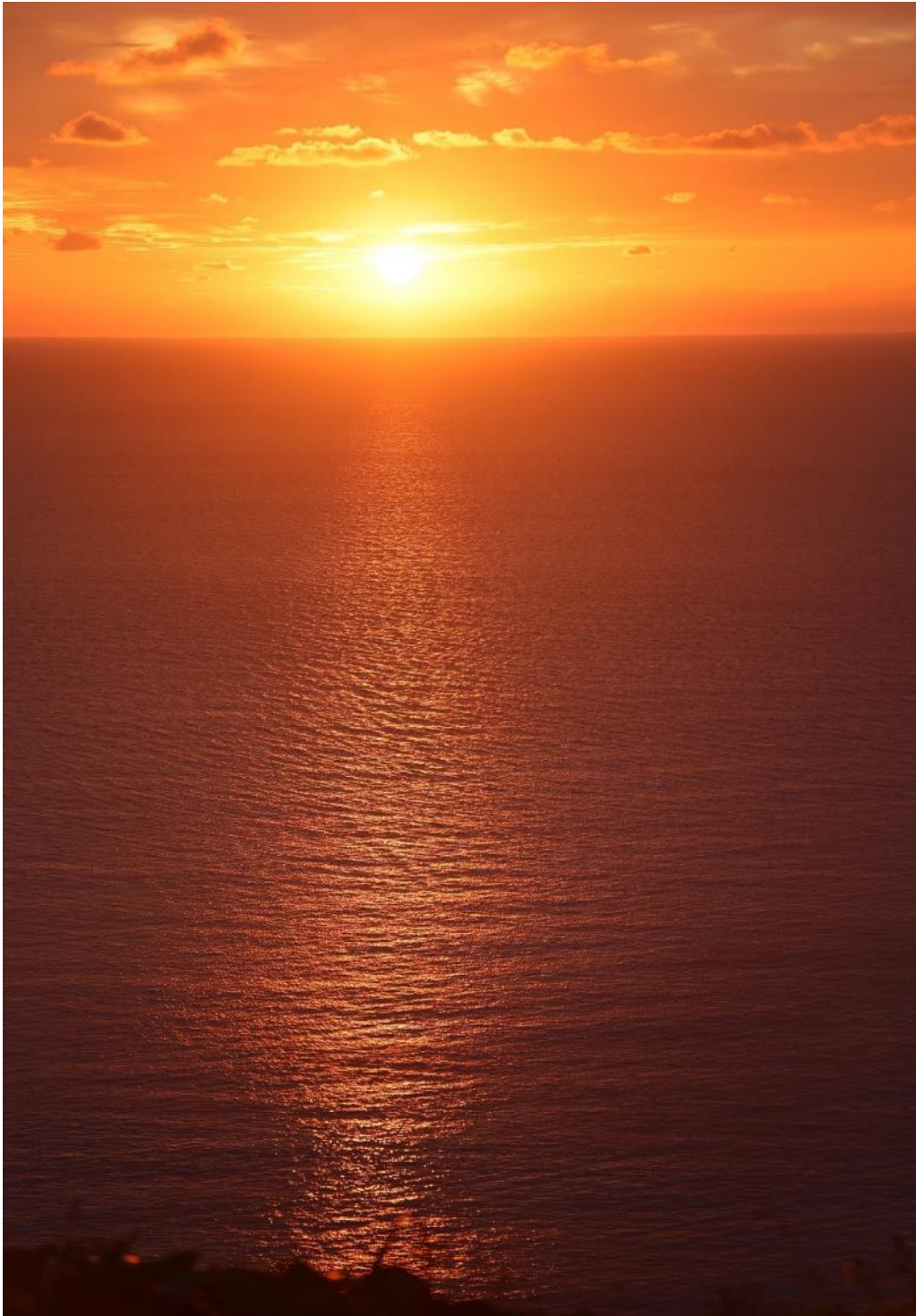
10時30分発博多行き的大型船で中通島 青方港へ、船内個室（小さくて窮屈、麻雀なら、1卓しか置けない）を利用、



中通島青方港 11時50分着、タクシーで港から少し離れた有川のトヨタレンタカーで車を借りて、近くの蛤浜海水浴場へ、ここも人がいない、無人ではなかったが、若い二人が泳いでいた。

15時ホテルチェックインを済ませて、今回のハイライト夕日スポット（矢堅目）へ、蚊に刺されつつ見事な夕日を撮影。





日没 18 時 35 分。ホテルに戻り夕食 19 時 15 分。山形県の有名イタリアレストラン
アルケッチャーノ監修 このホテルでは酒が出た。レストランで久しぶりに料理と酒を楽し
む。

このホテル、(AOKA 上五島) で最初に案内された部屋は窓が開かないので別の部屋を要求、
結果スイートになり洗濯機があり、汚れ物を洗濯、助かった。

9月10日

8時起床、朝食はホテルでタイ茶付け、10時 車で出発 蛤浜海岸で雄美子は泳ぐ、一人で独占、

11時から中通島と若松島をつなぐ若松大橋へ、昨日船でこの橋の下を通った。12時半ごろから若松島で昼飯を探すなかなか見つからない。奈良尾湾まで行きうどん屋に入る、雨が降ってきた。

14時頃うどん屋を出発し、中通島の真ん中東の世界遺産頭の教会に行く、今回初めての教会見学、カトリックの信者の人が詳しく説明というか何となく監視付きの雰囲気、16時珈琲店でコーヒーを飲み 16時30分満タンにしてトヨタレンタカーに返却、レンタカー店がホテルまで送ってくれた。17時30分ホテルに紹介された寿司屋“嶋”へ、客は我々2人だけ初めはぶっきらぼうな大将も次第に打ち解けていろいろ話をした。焼酎の注文は1本単位、二人では飲みきれないでしょう、酒なら1合単位で出せるが、酒は一種類（一ノ倉）五島くんだりまで来て東北のお酒を飲むのかと思いつつ、選択肢がないので一ノ蔵2合を飲む、途中追加1合頼むと、残りが少ないと瓶椅に入っていた全部をくれた。イカが美味しく足（ゲソ）の部分までいただく。寿司はシャリが少し大きいがまあいいか、コロナで客が来ない、もう補助金で生きているなどとの愚痴が出た。味はまあまあ、十分食べて風呂に入り寝る。

9月11日

起床6時、朝に弱い雄美子は朝飯をパス、恆夫一人朝食、7時15分タクシーで鯛の浦港へそこで8時に出港する高速船を捕まえて、長崎港着9時50分、長崎に戻ってきたが、雨なので直接雲仙小浜温泉に行くことにする。旅館伊勢屋、寛文年間（1680年）創業、改装が終わって非常にモダンな旅館になっていた。部屋は400番、かけ流し風呂付。部屋は海を前にして、この日の夕日はきれいだった。飯も文句なし、イセエビのおつくりが出た。梅酒+焼酎+ソーダ割をロックで頂きました。



1680（寛文9年創業）伊勢屋



9月12日

起床7時30分朝食8時30分、質及び内容共に十分

10時30分雲仙岳經由島原へ、城を見に行く。松倉氏が分不相応な築城をしたため、費用を捻出するのに過大な年貢を領民に課したのが島原の一揆（1637年・38年）の原因になったとか、まさに立派な城。入場は×であったが、裏から入る、少ないが人はいなかった。城の建物の中には入れなかったが廻りを散歩。お茶を飲むところも閉じていた。旅館に帰る途中雲仙岳温泉でカフェに入りお茶14時。ホテル帰着15時。17時30分夕ご飯、今日は曇りで夕日は見えなかった。19時ご飯を終わり寝る。



9月13日



起床7時朝食7時30分、旅館発10時30分。今日は島原半島から天草島へ、海岸沿いをは走り原城へ、ここの本丸は入場できず、おまけに本丸の真ん中が陥没して修復中。ここも人がいない。もっと急坂や入り込んだ地形と思っていたが、比較的平坦な丘、ここで一揆軍3万7千万、幕府軍12万6千が戦った所とは到底思えない穏やかな景色が広がり、城のからめ手は穏やかな有明海。一揆軍は全滅したが、あまり陰気な感じはしなかった。

皆ゼウスに導かれて天国に行ったからか？

原城から20分のところにある天草行きのフェリー乗り場へ、便は1時間おきに出ている。天草までの所要時間30分長崎で借りたレンタカーを載せて渡った。小雨の中をホテル天空の空へ。到着は16時、ロケーションは素晴らしい。天草の松島と言われるところ。夕食は18時。ここのイタリアンは有名。田上ソムリエは半年ほど前にマンションの隣部屋の有村さんに紹介された人、有村奥さんの従兄。田上ソムリエはこの日は不在だが、

ホテルの部屋（露天風呂付）から湾を一望



イタリア産の発泡酒スプマンテの差入れがあり、美味しい味を堪能した。ここも部屋に半露天の風呂がついている。21時寝る。

9月14日

朝食9時、あまり多くて食べきれない。この日は雨でコインランドリーに選択に出掛けたほかは外出なし。疲れ休み。部屋付きの露天風呂に入ったりしてのんびり過ごす。晩飯は18時30分田上ソムリエ登場、食事のメニューも素晴らしい文句なし。20時に部屋に戻り寝る。



9月15日

起床6時 ホテルの近くに掛かる天草5橋のうち2橋を渡りに散歩に出掛ける。歩道は一人がやっと歩けるくらい、橋をかなり多くの車が走る、大型車が通ると橋が揺れる。ここからの景色は素晴らしい。橋の下をのぞくと漁師が魚を取っている。ホテルに戻り朝食9時から10時の間。



11時ホテルを出発、先ほど見た天草5橋、(天草の松山と言っても過言ではない、)を渡り一路熊本へ、途中イタイイタイ病(水銀中毒)で問題になったところ、水俣、を通り、予定の

返還時間11時ぴったりに熊本駅前ニッポンレンタカーの営業所に到着。そこからタクシーでJALホテルへ、ワンメーターで行くと言われたが、代金は1,650円。ホテルは熊本城の前、部屋に荷物を置いて城の見学に行くが、拝観中止。清正公を祭った加藤神社に行き天守閣の近くまで行く、天守閣の修復は完成していた。そこからホテルに引き返す。熊本はすらっとした美人が多い様に思えた。

晩飯はホテルの近くの〇〇中華レストラン、名物の燕〇〇、ちゃんぽんの麺を春雨に代えた物、+東坡肉(長崎と同じ)美味しかった

熊本城長堀



復元された熊本城天守閣

9月16日

主食はビュッフェ、結構品が豊富。熊本の JAL ホテルはホスピタリティーが良かった、

長崎の JAL ホテルとは比べ物にならないくらい。部屋のロケーションは熊本城の近くで、合格点、知り合いに紹介したいくらい。

11 時 19 分熊本発九州新幹線で広島へ、到着 13 時、そこでお好み焼きの本場広島焼きを食べるのが目的、ミシェランに紹介されているいっちゃん、さすがコロナにも関わらず、満員、14 時広島発 山陽新幹線で福山着 14 時 50 分、駅で今日宿泊の鷗風亭のピックアップに間に合い鞆の浦へ、部屋は海に面して角部屋広くて景色がよく見えた。

18 時 30 分夕食、豪華で美味なり。



ホテル鷗風亭、食堂

9 月 17 日、最終日

雨、台風の影響か？どこも見ず旅館の送迎バスに乗る 10 時 30 分、福山発 11 時 19 分の山陽新幹線。雄美子と新神戸まで行く、彼女は翌日大阪のマッサージの先生のところに腰の治療に行くのでここでお別れ、私は新神戸から東京行きの新幹線に乗り換えて新横浜へ、そこから溝口行き直行バスに乗り帰宅 16 時 30 分、猫にようやく再会。 終わり



新神戸新幹線 上りホーム